

第3学年社会科学学習指導案

日時 平成15年6月30日(月) 5校時
児童 3年1組
男子14名 女子19名 計33名
場所 3年1組 教室
授業者 佐藤純子

- 1 単元名 「見つめようわたしたちのまち」
1 まちたんけんをしよう

2 単元の目標

- 自分たちの地域の特色ある地形・土地利用、主な公共施設、交通の様子などを調べる活動をおし、地域の人々の暮らしが自然環境や社会環境と深くかかわり合っていることを捉えさせ、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。
- 地域を具体的に観察・調査して絵地図や白地図に表現し、地域の特色を捉えるとともに、地域の公共施設を進んで利用し、地域社会にはたらきかけることができるようにする。

3 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第3学年4学年の内容、2(1)「自分たちの住んでいる身近な地域や市(区、町、村)の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子などを観察、調査したり白地図にまとめたりして調べ、地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする」を受けたものである。

生活科からの接続・発展を考えて、自分たちの住む地域の探検活動をするなかで、自分たちのまちやそこで生活する人々、施設・設備などのかかわり気づくこと、自分たちの住むまちのよさに気づき、まちに対して愛着をもつことをねらいとしている。そのため、探検活動を重視した単元構成となっている。探検活動からの導入は、生活科の手法としても先行経験があり、子どもたちにとってもなじみやすく、探検・発見の期待や喜びがその後の活動を支える意欲になると考えられる。

(2) 児童について

子どもたちは、初めての社会科にたいへん興味・関心をもっており、社会科の時間を楽しみにしている。昨年度までの生活科の関わりもあり、特に探検活動に対しての関心は高く、早く行ってみたい、調べてみたいと期待を大きくふくらませている児童がほとんどであった。

また、春の遠足では、金ヶ崎町内にある卸売業者やシューズ工場などを訪問し、そこで働く人の様子や仕事の内容などについて見学してきた。その際、児童は、それらの施設でどのようなことを知りたいか、見てきたいか課題をもって出かけ、分からないことについては質問をするという活動を行った。だが、まだ問題解決型の思考・判断的な学び方や技能・表現的な学び方についてはこれから学習を深めていかなければならない。

(3) 学習の進め方について

本単元が初めての単元であるので、社会科の学び方をしっかりと身につけさせ、学習の基盤をつくりたい。

単元のつかむ段階では、方位磁針で四方位を確かめたうえで、町役場の展望台からまちの様子を観察し、学習プリントに建物や気になったものの名前を書き込む。さらに、見つけたものを絵カードに表し、方位を確かめながらグループ毎に模造紙に貼っていく活動をする。展望台からではよく見えなかったところ、もっと詳しく調べてみたいものはどのようにしたらよいかを話し合い、課題意識をもたせ、次の探検活動への意欲を高めさせたい。

調べる段階では、まずはじめに学校の西コースを探検する。探検で何をするのかをはっきりさせるため、土地利用・建物の様子・交通の様子など調べる視点を与え、全体で課題作りをする。探検では児童の実態を考え全員で同じコースを一緒に歩き、目印となる地点で意図的に足を止め周囲の様子を観察させることを通して、観察の仕方を身につけさせるとともに、ねらいに近づかせたい。探検後は、自分が発見したことを記した絵カードを白地図の上に置き、気づいたことを全体で話し合い、学校の西側の概観をつかませていきたいと考える。次に、東コース探検の計画へと進ませる。(本時)西コースは全体課題のみで進めたが、東コースから個人課題をプラスして問題解決型学習にせまりたい。その際、西コースの探検をして発見したことや気づいたことをもとに、東コースではどうなっているかという視点から課題を作り、西コースと比較しながら予想させていきたい。探検後は、学校の西側と東側の対比を意識させ、土地利用・建物の様子・交通の様子はどのようになっているかを話し合い、学校の周辺の概観をつかませたい。

まとめる段階では、まち探検で発見したことやわかったことを個人でポスター、ミニ新聞などにまとめ発表し合う。お互いの発表のよい点を紹介し合う場面を設定し、今後の活動へ生かせるようにしたい。

ひろげる段階では、まち探検で調べてきたことをもとに、工夫しながらまちの絵地図をつくり、自分たちのまちについて気が付いたことや思ったことを発表させたい。そして、これまでの学習を生かして、自分たちのまちについて様々な視点から、さらに調べてみたいことを個人で追究させていきたい。

(4) 仮説にかかわって

【仮説1】については、西コース探検計画を生かしながら、東コース探検の自分の課題を立て、問題解決型の学び方をしっかりと身につけさせ、学習の基盤づくりをしたい。

【仮説2】については、単位時間ごとの評価表を作成し、子ども一人一人の変容をとらえ、児童理解に努め、次時の学習の支援へと反映させたい。

4 単元の指導計画と評価規準

3年「1 見つめよう わたしたちのまち」

(本時10時/全23時間)

単元の 評価規準	1. 見つめよう わたしたちのまち (2.3時間)	【目標】 ・自分たちの地域の特色ある地形・土地利用、主な公共施設、交通の様子などを調べる活動を通し、地域の人々のくらしが、自然環境や社会環境と深くかかわり合っていることを捉えさせ、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。 ・地域を具体的に観察・調査して絵地図や白地図に表現し、地域の特色を捉えるとともに、地域の公共施設を進んで利用し、地域社会にはたらきかけることができるようにする。						
		関心・意欲・態度	社会的思考・判断	観察・資料活用 の技能・表現	知識・理解			
		目標	・学校の周りの様子について関心を持ち、学区の地形や土地利用、交通の様子等について、進んで追究しようとする。	・学校の周りの様子について調べた結果をもとに、学校の周りの場所による様子の違いを、地形条件や社会的条件と関連付けながら考えることができる。	・学校の周りを観察して、学校の周りの様子について調べたり、様子を絵地図に工夫して表現したりすることができる。	・学校の周りの土地の高低、土地利用の様子や集落の分布、交通の様子など、学校の周りの特徴を理解することができる。		
評価規準	・学校の周りの地域の特色ある地形、土地利用の様子、おもな公共施設などの場所と働き、交通の様子などに関心を持ち、意欲的に調べようとする。 ・自分が生活する身近な地域の特色やよさについて	・学校の周りの地域の様子について問題意識をもつて追究・解決する。 ・調べたことをもとに、身近な地域の様子は場所によって違いがあることを考え、適切に判断する。	・学校の周りの地域の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子などを観察、調査して具体的に調べる。 ・観察や聞き取り調査などの結果を、おもな地図記号や四方位などを用いた簡単な絵地図や平面地図に表現する。	・身近な地域の様子の特徴ある地形、土地利用の様子、おもな公共施設などの場所と働き、交通の様子などがわかる。				
過程	単位時間ごとの計画 (時)	目標	学習内容・活動	評 価 規 準				
				判断基準 (評価方法)				
				関心・意欲・態度	社会的思考・判断	観察・資料活用 の技能・表現	知識・理解	支援計画 ◎十分満足できる子 △努力を要する子
	・オリエンテーション (1)	・まちの紹介を自分たちで進めようとする。	・自分たちのまちについて話し合う。 ・自分たちがよく行く場所を紹介し合う。 ・「まち探検」の方法や学習の進め方について話し合う。	・自分たちのまちについて話し合う。 ・自分たちがよく行く場所を紹介し合う。 ・「まち探検」の方法や学習の進め方について話し合う。	・身のまわりの地域に興味を持ち、話し合う。			
つ	1, まちたんけんをしよう <1.5>	・高いところ、方位、地形、土地利用の様子などについて、自分たちがよく行く場所を紹介し合う。	・町役場の展望台の様子を観察し、気を取り合おう。 ・自分が興味をもったものを絵カードに表す。 ・方位磁針を使って東西南北の四方位を確かめ、自分の絵カードに四方位を書き込む。			・自分が気になった建物や景色を絵カードに表すことができる。 (アウ)	・高いところ、方位、地形、土地利用の様子などについて、自分たちがよく行く場所を紹介し合う。	
か	・問題を把握する (2) (3)							
む								◎方位磁針で四方位を確かめ、どの方位に何があるかを自由に調べさせ、方位を使用する利点に気づかせる。 △方位磁針の使い方方を指導し、絵カードに四方位を書き込めるように促す。

<p><1> ひろげる (23)</p>	<p>ついで様々な 視点から調べ、 発見をすること ができる。</p>	<p>で研究する。で ・まちの中を に気かかるこ 積極的に調べて いく。 ・発展的に調べ たことをまとめ たり、地図に付 け加えたりして いく。</p>	<p>うとができ よとが こる。 ----- ・まちの中 で気にかか ることを積 極的に調べ ようとする。 (ア)</p>			<p>るように促す。 ----- △今までの学習を 生かし、調べる視 点を明確にさせ る。</p>
------------------------------------	---	--	---	--	--	---

評価方法

項	評 価 の 方 法	評 価 の 具 体 的 な 方 法
ア	行動観察による評価	授業者または観察者のチェック表による評価
イ	発言分析による評価	子どもの発言回数、内容による評価
ウ	作品分析による評価	ポートフォリオ評価
エ	自己評価、相互評価	自己評価カード、アドバイスカード、コミュニケーション分析、感想文による評価
オ	表現の評価	発表会などの手法で発表される内容、方法などの評価

5 本時の指導

(1) 目標

地形や土地利用，交通の様子などについて，西コース探検を生かしながら，東コース探検をするための計画を立てることができる。

(2) 展開

過程	児童の活動	教師の支援	★評価規準 ☆判断基準	評価 法	備考	
つかむ 5分	<p>●西コース探検で，発見したこと・わかかったことを発表し合う。</p>	<p>○西コースの探検をまとめた白地図をもとに，土地の使われ方，建物・交通の様子などはどうだったかを発表させ，前時を振り返らせる。</p> <p style="text-align: right;">(支援の視点1)</p>			<p>・学校周辺の白地図</p> <p>・ワークシート</p> <p>・ホワイトボード</p>	
	<p>東コース たんけん計画を立てよう！</p>		<p>●計画を立てる見通しをもつ。</p>	<p>○探検の計画を立てるための手順を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探検コースの確認。 ・調べたいこと（課題）を決める。 ・課題の予想を立てる。 		
し ら べ る	<p>●コースを確認する</p> <p>●調べたいことを考える。</p>	<p>○役場の展望台から見えた風景から，いくつかポイントになるものを示す。</p> <p>○調べたいことの思考が広がるよう，考えたことをどんどん発表させた後，自分の課題を書く。</p> <p>◎課題設定理由を発表させる。 (H・S, M・S, J・K, O・K)</p> <p>△なかなか課題が見つからない児童には，みんなの発表をもとに調べたいことを考えさせる。 (O・T, T・S, T・S, T・H)</p> <p style="text-align: right;">(支援の視点2,3)</p>	<p>★西コースと比較しながら，課題を立てることができる。</p> <p>(思考・判断)</p> <p>☆地形や土地利用，交通の様子などの観点から課題を立てることができる。</p>	イ ウ	<p>・写真</p> <p>・ワークシート</p>	

ま と め る 35 分	●自分の課題を発表し、分類する。 ●自分の課題の予想を立てる。	○土地・建物の様子・交通の様子などに分類できることに気づかせる。 ○西コースと比べて予想を立てている児童を意図的に発表させ、比較して予想することのよさに気づかせる。 ◎自分の予想の根拠を発表させる。 (H・S, M・S, J・K, O・K) △役場の展望台からの様子や自分の生活経験を想起させ、予想を立てる手がかりとする。 (O・K, T・S, T・S, T・H) (支援の視点2, 3)	★自分の課題の予想を立てることができる。 (思考・判断) ☆西コースと比較して類似点や相違点を指摘できる。	イ・ワーク ウ・シート
ひ ろ げ る 5 分	●学習をふりかえる。 ●次時の学習内容を知らる。	○自己評価・反省をしながら、本時の学習をふりかえらせる。 ○本時で立てた計画に沿って探検を進めていくことを知らせる。		

支援の視点	教師と児童との関わり	支援のあり方
支援の視点1	全体への支援と教師の関わり	学ぶ対象との出会いの仕方、接し方を設定する。
支援の視点2	全体・個への支援と教師の関わり	学ぶために必要な調べ方などを教授、教示する。
支援の視点3	個への支援と教師の関わり	学ぶ対象との関わり方を助言、補助する。

6 板書計画

東コース

か

たんけんの計画を立てよう

- 〈計画のしかた〉
- ・たんけんコースのかくにん
 - ・調べたいこと（かだい）を決める
 - ・かだいのよそを立てる

学校の東がわで知っていること

- ・町立図書館、役場がある
- ・大きなはし
- ・ビックハウス、アクセス

〈調べたいこと（かだい）を決める〉

土地

たて物

交通

その他

- ・
- ・
- ・
- ・

- ・
- ・
- ・
- ・

- ・
- ・
- ・
- ・

- ・
- ・
- ・
- ・

〈よそを立てる〉

- ・田が少ない
- ・店や家が多い

- ・店が多い
- ・だん地がある

- ・たくさん車が通っている
- ・電車が通っている